

市民提案型協働事業進捗状況について

資料 4

仮事業名	現状	課題	事業内容（課題解決）	進捗状況	経費内訳
「羽黒町で頑張っている人を見つけ隊」	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の人手不足 ・地域の中にどのような事業所(仕事)があるか一覧で分かるものがない。 ・新しい事業所の中には職種がわからない事業所もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人も子どもも、地域の事業所を知るきっかけが少ない。 (地域の中に事業所があるのに、他地域の同業種の事業所に依頼してしまう。) ・地元の企業を知らないため就職する若者がいない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.小学校 5.6 年生を対象とした仕事探検を 3 年間実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域内のどこにどんな事業所があるか地域内を回る。さらには、店舗、事業所を構え働いている人、農業（米、果樹、野菜）をがんばっている人を訪ね、インタビューや仕事体験をさせてもらう。 ・年 3 回（6,7,8 月に各 1 回・半日程度）実施する。 (学校から、夏休みの自由研究にしても可能との回答があったため) 2.毎年、子どもたちが集めた情報を載せたマップを作成する。さらに 3 年目に 3 年間分をまとめた事業所マップを全戸配布する。 <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューや仕事体験を行うことで興味を持つことができる。 ・地元事業所の発見。 ・事業所の励みになる。 ・担い手の育成 	<p>9/7：佐藤氏から聞き取り</p> <p>9/8：各小学校へ事業の説明と学校の現状の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・謝礼 90 千円 (30 千円×3 回) ・インタビュー、体験事業所に対して ・消耗品費 20 千円 (用紙等) ・食糧費 10 千円 ↑上記については、単年の金額 ・印刷製本費(3 年目) A3 両面、カラー刷り 3,000 部 500 千円
創造の森 さくらライトアップ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3、4 年度に、提案者の中野氏のグループが、創造の森の桜を自前で装飾して盛況であったため、令和 6 年度以降も開催を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が創造の森を借りて開催するイベントであったため、市による宣伝をしていなかった。 ・市民の創造の森の認知度が低く、施設利用者が限られている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創造の森の桜をライトアップし、市内外から集客する。(イベント内容は今後協議、地域店舗の出店等) 2. イベントの実施主体は、中野氏が設立した実行委員会が担う。 3. 市が後援し、様々な広報を通じて PR する。 4. 創造の森及びライトアップの風景をドローンで撮影して PR 資材とする。映像は、市や観光協会等が自由に使用してもよい。 5. 市の広報で施設の特集記事を組み、利用者の拡大を図る。 6. 令和 7 年度以降、ライトアップのみでなく、1 年を通して様々なイベントを実施する予定である。 	<p>8/29：中野氏打合せ</p> <p>10 月上旬：実行委員会協議</p>	<p>創造の森予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気料増額 <p>未来事業予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン撮影費（5 万円） <p>他実行委員会協議で相談</p>
手向まち歩きサイン設置事業	<ul style="list-style-type: none"> ・手向地区では、平成 29 年度から実施してきた「宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業」により、宿坊街としての趣あるまちなみの連続性が高まり、統一感のある美しい景観が形成されつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋等の修景整備によりハード面の整備は行ってきたものの、宿坊街を観光の目的地とする人は少なく、羽黒山を訪れた観光客が宿坊街に回遊してこない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業」により整備した物件に対し、整備した証となるプレートを作成し配布する。 ※プレートには手向のロゴマークを使用し特別感のあるものにする。(石川県金沢市「伝建プレート」を参考) 2. 宿坊街をまち歩きする際に、歴史的建造物や宿坊等の情報を自ら取得できるように看板(サイン)を設置する。 ※QR コードを添付し多言語対応にする。 	<p>6/27：勝木会長・高谷先生とデザイン等について打合せ。</p> <p>9/13：手向地区にある既存の看板位置と仕様を調査。</p> <p>→平成 29 年度「日本遺産魅力発信推進事業」で黄金堂や活動センターに説明看板を設置。</p> <p>→平成 30 年度・令和元年度「鶴岡市サイン計画」で案内看板や説明看板を数カ所に設置。</p> <p>※今後は仕様や設置場所を具体的にするため、平成 30 年 3 月作成の「鶴岡市歴史的風致重点区域サイン計画」に基づき検討し概算見積等の徴収を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレート 400 千円 ・サイン 1,100 千円 合計 1,500 千円 <p>国庫補助 1/2</p> <p>社総交予定</p> <p>※プレートの予算は国に概算要望済み、サインの予算も含めて本要望を予定する。</p>

